



No. 5

平成29年1月10日

飯綱町教育委員会

～統合小学校名称議決され正式に決定～

住民から統合小学校の名称を募集し、選定を小学校統合準備委員会で進めてきた統合小学校の名称が、12月議会に「飯綱町学校設置条例の全部を改正する条例」議案として上程、議決されました。

三水地区小学校

「飯綱町立三水小学校」

牟礼地区小学校

「飯綱町立牟礼小学校」

子どもたちが笑顔で輝く学校として、新たな歴史を刻んで行く2校が地域の皆さんにとっても拠り所の場所となるような学校づくりをさらに進めてまいります。

～校章デザイン募集～

飯綱町小学校統合準備検討委員会開校部会では、2校の統合小学校が平成30年度4月に開校するにあたり、ふさわしい「校章デザイン」を募集しています。

飯綱町では、「飯綱町スクールモデル」として、統合により新たな小学校の姿と小中連携や飯綱町らしい特色ある学校づくりを目指すため「校章は同一」といたします。

(飯綱町小学校統合「校章デザイン」募集要項より抜粋)

1. 募集期間

平成29年1月1日(日)～2月28日(火) ※郵送の場合当日消印有効

2. 応募資格

- (1) 飯綱町在住者または、町内に通勤している方
- (2) 飯綱町内に通園・通学している方及びその保護者
- (3) 飯綱町出身者

※ (1)(2)の方で団体(例、クラスや職場など)としても応募可能です。

3. 応募条件

(1) デザインの基準

- ①校章から地域性がわかるもの、イメージができるもの
- ②未来に向けて輝く小学校のシンボルとなるもの
- ③様々なところに活用する際のしやすさとわかりやすさのあるもの

(2) 応募作品は、未発表（他の著作権に触れない）のオリジナルデザインに限ります。

(3) 応募された校章デザインは返却しません。

(4) 採用されたデザインに関する一切の権利（著作権含む）は、飯綱町教育委員会に帰属します。

(5) 採用された校章デザインは、一部補作・修正を行う場合があります。

(6) 応募に要する経費は、応募者の負担とします。

4. 応募方法

応募用紙に、以下のことを記載して持参されるか郵送、または電子メールのいずれかの方法で応募してください。ただし、FAXでの応募は不可とします。

(1) 応募者の住所、氏名、年齢、電話番号

(2) デザインの説明（理由やイメージなど）

(3) 応募用紙は、折らずに提出してください。

(4) ひとりで何点でも応募可能ですが、応募用紙1枚につき1点のデザインとしてください。

※ご記入いただいた個人情報は、校章のデザイン募集に関する目的以外には使用しません。

※応募用紙は、役場牟礼庁舎・三水庁舎、町民会館、飯綱福祉センターなどに備えてあります。また、いづな通信1月号及びホームページからもダウンロードできます。

5. 作成要領

(1) 使用する色は3色以内とし、グラデーション（ぼかし）は使用しないでください。

(2) 単色で表現しても、イメージが損なわれないものとしてください。

(3) コンピュータソフトによる作成も可能としますが、電子データで提出する場合は、JPEG形式またはPDF形式・GIF形式でファイルサイズは3MB以下としてください。

6. 応募先

〒389-1293 飯綱町牟礼 2795-1 飯綱町教育委員会 TEL253-4769

電子メールアドレス kyoiku@town.iizuna.nagano.jp

7. 選考結果の発表

いづな通信及びホームページなどにより周知します、

～小学校統合後の通学対策等保護者説明会から～

そこに住んでいる人でしかよく分からない具体的な実情を聞くことができました。

牟礼西小学校保護者説明会 11月29日（火）19:00 牟礼西小学校会食室
世帯数53のうち保護者16名出席

- ・古町から中宿のライスセンター（ステーション）へ行くのなら、直接学校でもそんなに距離は変わらないので、徒歩通学の方が良い。
- ・古町。歩かせたい。朝だけ登校班を作ってもらいたい。
- ・中宿の一番東寄りなので、歩いても良いと思うが、他の地区の方の意見に合せたい。
- ・東高原で路線バスで登校しているが、雪で倒木等があると営業所へ電話して運行を確認したりということをしているが、スクールバスではどうなるのか。
- ・野村上なのでバスの方が良い。
- ・スクールバスになって路線バスに乗る人がいなくなり、路線バスがなくなってしまうのはさみしい。
- ・男の子なので歩かせたい。
- ・歩かせたい。登校班を作ってほしい。
- ・中宿はバスにしたい。
- ・地蔵久保から朝ひとりしか乗って来ない。路線バスが利用できるのではないかな。
- ・路線バス、さらにスクールバスを購入することでお金がかかるのではないかな。
- ・袖之山から野村上くらいはまでは歩かせたい。袖之山は野村上のステーションで良いと思う。牟礼西小学校をステーションにすれば今までと変わりがない。親とすれば歩かせたいが、子どもはバスで行きたいと思うだろう。
- ・東高原のステーションの場所は安全な場所を選んで欲しい。冬に児童が待つ場所が除雪されていないと車が通る時に危ない。
- ・夏は徒歩通学、冬はスクールバスというようにして歩く機会を大事にする。夏と冬で通学方法を変えたらどうか。
- ・行きはバス、帰りは徒歩というのでもいいのではないかな。
- ・飯綱町は来町者に対する公共交通機関が不足しているので、購入したスクールバスを一般でも利用して、有効活用してほしい。例えば、学校の通学だけでなく跡地で利用するときの送迎用として、町の活性化のためにもなるように運営してほしい。
- ・ガードレールのないところは、カラーベルト舗装（グリーンベルト）をして安全を確保してほしい。
- ・児童クラブを西と東で選べるようにしてほしい。
- ・上村は東高原と同じジャンボタクシーで良いのではないかな。
- ・学校としては、スクールバスが学校行事に利用できることはとてもありがたい。



- ・平出で往復 10km 歩かなければならない。子供が 6:30 に出るには 5:30 に起きて準備しなくてはならない。徒歩通学も良いと思うので、朝バスで帰り徒歩か、途中でバスを降りて歩くということにしてほしい。
- ・冬日課の始まる日と、冬期バスの始まる日を合せてほしい。
- ・栄町の駅の奥の家で遠いので、冬だけでもバスに乗りたい。子供が少なくなってきて心配。
- ・福井団地の真ん中辺りに住んでいるが、高学年の冬期のバスはありがたい。高学年になれば歩けるので中学生になったときのことも考えると、高学年の夏期もバスで 6 年間バスになるのは体力面で心配。ある程度歩いて通学することが大切。安全面を考えると悩ましい。
- ・福井団地は歩けるので歩いた方が良く。平出は遠いので、三本松まで歩くとかという案はどうか。
- ・バスが学校に集中するようになるので、徒歩で通学してくる児童の安全対策をきちんとしてもらいたい。
- ・平出は遠いので、行き帰り両方バスを希望。
- ・小玉。地域の子どもがみんなと一緒に帰ってこられるような、地域の繋がりを深めた方が良く。
- ・福井団地。自分も子どもの頃に通っていた。環境がその頃に比べ良くなってきた。高学年になると歩くことが面倒だったり、周りに友達もいなかったり、見守りの人もいない状況なので、朝夕バスにしたい。
- ・坂上は徒歩通学で来年子供が入学するが、帰りにひとりで帰って来ることが心配。
- ・四ツ屋。子どもが帰りにひとりで帰ってくることになるので、今児童館まで迎えに行っている。親どうし、子どもどうしで見守りたいが子どもが少なくてどうしたら良いか困っている。
- ・福井団地の大和の辺に住んでいるが、今特に困っていないので、歩いてもらった方が良く。
- ・福井団地。これから 1 年生になる子どもがいる。下校が心配。バスから児童館までと児童館から家までの移動のときに見守りをしてもらいたい。
- ・福井団地の真ん中。現状で良く。歩くことは良く。私も見守りができるようにしたい。見守りを意識的にやっていく。見守りを登録制にしてみんなで子どもを見守るようにしたい。
- ・福井団地。同じ年の子どもと集団で帰宅している。特に困っていない。学校までの距離が長い人は心配な気持ちが分かる。見守りをやっていただけたらありがたい。
- ・今日来ている人が少ないので、平出は集まってもらって意見を聞いた方が良く。
- ・駅から福井団地までの道が暗くて危ないので、街灯を増やして欲しい。
- ・ガード下の辺も子どもが通学するのに危ない。
- ・飯綱病院の西側、ニチアス付近の S 字の道が危ないので、歩道をつけて欲しい。
- ・T シャツは中学と同じで、カラー T シャツにして欲しい。
- ・上履きは、紐タイプ、ゴムタイプどちらでも良いか。



- ・上赤公会堂のステーションは冬除雪をしっかりとしないとマイクロバスが入れないと思う。日陰の部分が雪が凍ってガタガタになり轍ができてしまうので、チェーンを巻いた方が良い。
- ・ステーションの除雪をしっかりとしてもらいたい。道だけでなく待つ場所も。今保育園バスを待つ場所も除雪がされておらず、待っている間子どもと保護者が危険な状態なので丁寧に除雪してほしい。
- ・自分の家はスクールバスのステーションより路線バスのバス停の方が近いので、スクールバスと路線バスを選べるようにしてほしい。中学生と一緒に路線バスに乗ることは縦の関係の育成にも大切。
- ・Bルートの下赤塩のステーションを、第二小学校バス停前にしてほしい。
- ・Aルート of 扇平団地のステーションはミスズライフ工場へのトラックなど、大きな車が通るので、その下のポスト前に変更してほしい。
- ・夏休みの学童保育やプールでスクールバスを出してほしい。
- ・子供の乗り降りをチェックする添乗員はつかないのか。
- ・奈良本。バスに乗り遅れた時のことを考え、その日に乗車するしないの連絡システムをしっかりと構築してほしい。現在、保護者どうして連絡を取り合っていることも参考にしてほしい。
- ・ステーション全部に時計をつけてもらいたい。中学でも路線バスのバス停に時計をつけて欲しいとの要望を出している。
- ・各小学校の差が少なく考えられていて良い。実際に始めてみないと問題は出て来ないと思うので、始めてみて修正していくことが大事。
- ・スクールバス利用における保険はどうなっているのか。
- ・統合後も児童クラブは外で遊べるようにしてもらいたい。
- ・放課後下校までたっぷり遊んでいる。今後も体力向上の観点からそういう時間を確保してもらいたい。
- ・三水第一小学校の児童は私服が多いが、統合後はジャージ登校にってもらいたい。
- ・三水第一小学校は毎日掃除をしていないらしいが、毎日してほしい。



- ・バスに乗るか乗らないかは決めたら変えられないのか。バスに乗る日と乗らない日を選らべるようにはならないか。
- ・川谷に住んでいる。親の意見と子供の意見のどちらを優先するか悩む。1年生の初めの頃、歩いて帰るとぐったりとしていたが、ここにきてそれも見られなくなり、体力がついてきたことを実感している。さんちゃんのところまでは人家がないので、さんちゃんくらいから歩かせたい。1人で歩かせるには不安があるが丈夫に育てたい。友達とみんなで歩くのであれば、低学年でも徒歩通学が良い。
- ・該当地区での話し合いが必要。今日来ているほとんどの人は徒歩通学エリアで変わらない人。
- ・バス通学に決めたら必ず乗らなくてはいけないということではなく、日によって乗るか乗らないか選べるようにしてもらいたい。
- ・歩道の整備を進めてもらいたい。東原に住んでいるが、一部途中まで道が狭い。特に1年生は衝動的な行動をとることもあり大変心配している。
- ・倉井川北は、倉井神社方面を通学路にしている。本当は新道経由にさせたいが、車が多く人通りも少ないので、クマ出没の心配な倉井神社方面に頼っている。
- 一人で歩くようにならない対策をしてもらいたい。
- ・今は子供はいないが、一ツ屋も3kmくらいあるので、バスに乗る対象にした方が良い。
- ・「安心の家」がない。見直してほしい。
- ・Tシャツの色がいろいろあっても困るし、運動会で学年が分からないので、今のままで良いと思う。運動服で通学するかどうかは各学校で決めるとのことだが、運動服で通学するとなると運動服が2着必要になるし、行方不明などの時にみんな運動服だと目撃情報が得られにくいので、私服通学の方が良いと思う。保護者の意見を聞いて決めた方が良い。
- ・校長先生の意見。徒歩通学の子は朝の授業から生き生きしている。徒歩通学については安全面も考えて検討する必要がある。水路にフタがしておらず危険な場所がある。「安心の家」を高齢などの理由によりやめたい家が出て来て、学校だけで増やすのはむずかしい。
- ・通学路の危険箇所等について、毎年提出している要望を見直して対応してほしい。
- ・出した要望の結果が見えて来ないので、要望のうちこれをやりましたという事を報告してもらおうと、意見を出していこうという気持ちになるので、そういう情報提供をして欲しい。意見を聞く時に、前年度の結果を示してもらえば検討しやすい。



○ 小学校統合保護者説明会を終えて

今回、保護者の皆様から貴重な意見を沢山いただくことができました。この意見を参考に再度検討し、原案を修正していきたいと思います。徒歩通学かバス通学かの判断が難しい地区においては、改めて地区ごとの話し合いが必要と思われましたので、今後、該当地区での話し合いを持って決定して行きたいと思います。また、今回出た要望については関係機関および担当者に繋いでいきます。

～二学期の交流活動から～

長い二学期が終わりました。二学期には三水地区、牟礼地区の小学校ともに交流活動が積極的に行われました。まずは子どもたち同志が慣れることを第一にして、直接関われるゲーム等をたくさん取り入れて親睦を図っていました。ゲームを通して名前を覚えながら互いを知ることを行い、校舎が異なるので、探検をしながらお互いの学校を知り合いました。

マイクロバスでお互いの学校を行き来しました。特に三水第二小学校と牟礼西小学校の皆さんは、30年度から使う校舎としての意味も感じながら参加しているように感じました。



<ゲームのルール説明>

どんなゲームをやるのか、みんなで確認。さすがに4年生聞く姿勢がいいです。



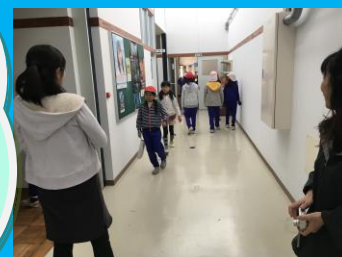
<ジャンケン列車>

東西の子どもたちが混ざりあって楽しんでいました。



訪問した東小学校の皆さんの下足。

整然とした靴の姿に、訪問の心もそろっていることがよく伝わってきます。



<学校探検>

グループに別れて校内を探検しました。



<王様ジャンケン>

ジャンケンと走ることの組み合わせで楽しんでいました。

三水地区1年生の交流会 11月8日(火)

三水第二小学校

三水第一小学校1年生と三水第二小学校の1年生との交流会が三水第二小学校で行われました。

始めに大縄跳びで体をほぐして、自分で作った工作の作品を持ち寄って、手作り作品で遊びました。それぞれが自分で作った作品であるので、大事そうに扱っていました。遊ぶ前に自分の作品の微調整をしたり、途中で直したりしました。友だちの声を聞いて自分の作品の出来栄を確かめる場面にもなりました。そのあと校舎の中をグループに別れて探検しました。三水第一小のみなさんにとっては初めての環境で興味津々の様子でした。

